

ワークショップ

評価からはじめるまちづくり！



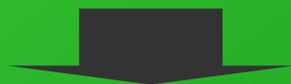
(1日目)

平成22年11月11日

盛岡市 行政経営課

このワークショップのねらい

どのような数値情報で測れば、**盛岡のまちづくりが進んでいるか**（遅れているか）を判断できるか？



「**成果指標**」を
市民とともに考えたい！



「成果指標」とは・・・



行政の行ったしごとや民間の活動によって、地域の状態や市民生活がどのように変化したかを把握するための数値情報

例) みなさんが日ごろニュースなどで耳にするこれらの数値情報も、成果指標のひとつと考えることができます。

GDP(国内総生産)、完全失業率、合計特殊出生率、平均寿命、温室効果ガス削減率、識字率、交通事故発生件数・・・

市のしごと(例)

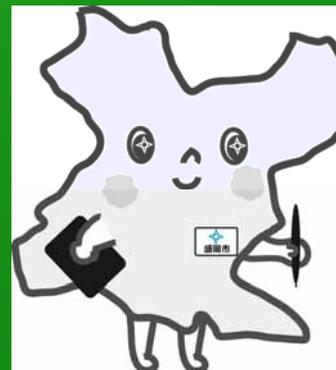
- ごみの収集、焼却
 - 道路の整備・管理
 - 小・中学校の設置・運営
 - 障がい者福祉施設の設置・運営
 - 上下水道
 - 除雪
 - 観光客の誘客・宣伝
 - 自転車通行帯(ブルーゾーン)の整備
 - 農畜産品のブランド開発の支援
 - 企業の誘致活動
 - 文化・スポーツ施設の設置・運営
- etc...

「事務事業」と言い、市には約1,200個あります。



これらのしごとの
「成果」は何か

どのように「成
果」を把握するか



例1) 『つどいの広場』運営事業

- ・子育てや育児について気軽に相談できる相手や仲間が集う場所を提供する。
- ・子育て支援に関する情報の提供や講習等を行う。

成果

- ・利用者の人数
- ・利用者の満足度



例2) 広報もりおか発行事業

- ・市政情報や市民活動などを掲載した「広報もりおか」を月2回発行し、全世帯に配布する。

成果

- ・広報紙を読んでいる市民の比率（市民意識調査）

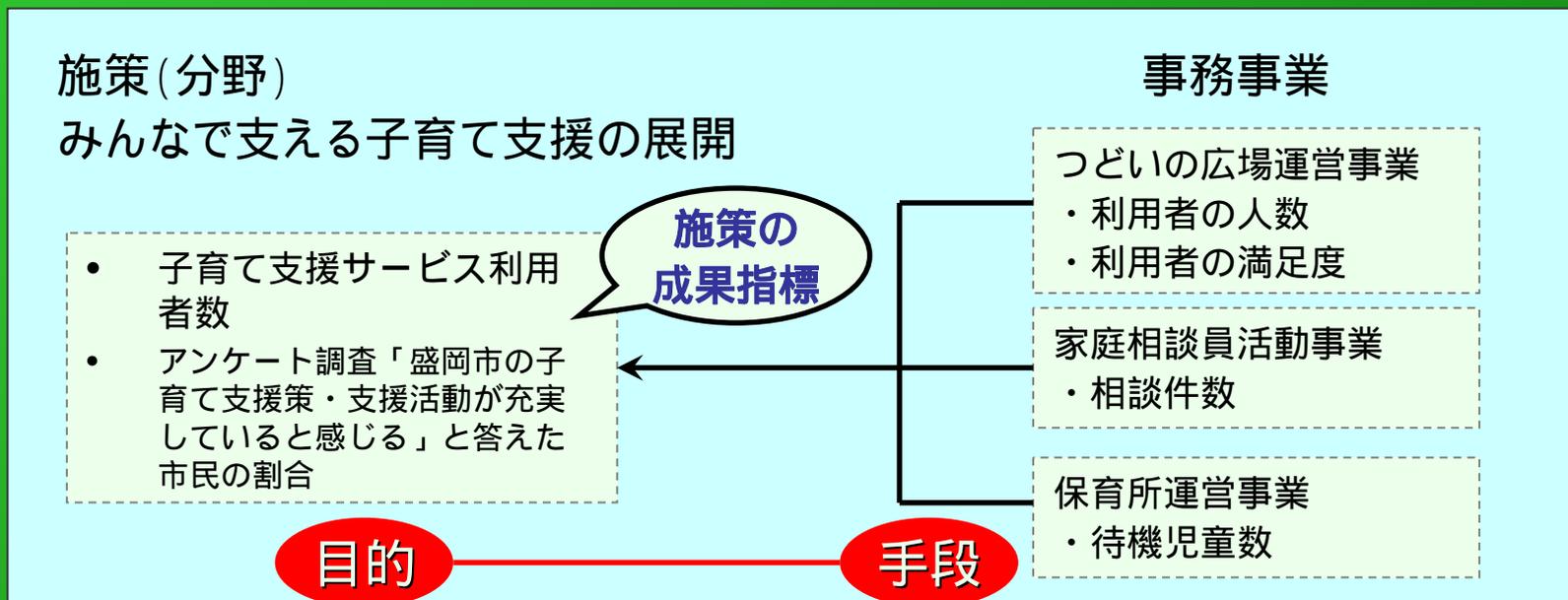


「施策」レベルでの評価も必要

- 地域の状態や市民生活全体の視点で捉えた成果

施策(分野)

(市には41の施策【分野】があります。)



盛岡市の41施策（分野）

健やかに暮らせる健康づくりの推進
地域をリードする医療体制の確立
共に歩む障がい者福祉の実現
高齢社会に適応した高齢者福祉の充実
暮らしを支える制度の充実と自立支援
みんなで支える子育て支援の展開
ふれあいが広がる地域福祉の実現
自然災害対策の推進
火災に強い消防体制の構築
市民生活を守る安全対策の充実
元気な地域コミュニティ活動の推進
人権を尊重する地域社会の形成
多様な国際交流・地域間交流の推進
快適な情報ネットワークの実現
将来を担う次世代の育成
いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築
生涯にわたり楽しめるスポーツ・レクリエーションライフの実現
豊かな心を育む芸術文化活動の支援
歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用
活力ある農林業の振興

まちに活力を与える工業の振興
多様で活発な商業・サービス業の振興
地域資源をいかした観光・物産の振興
安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進
生活環境の保全
かけがえのない自然との共生
地球環境への貢献
適正な土地利用計画の推進
魅力ある都市景観の形成
快適な居住環境の実現
うるおいのある公園・街路樹の確保
いつでも信頼される上水道事業の推進
健全な水環境・良好な水循環の創出
にぎわいのある市街地の形成
都市活動を支える交通環境の構築
健全な財政運営の実現
計画的で効率的な行政運営の推進
市民とともに作る行政の実現
市民の負託に応える組織の構築・人材の育成
より便利な行政サービスの構築
自治の確立を目指す取り組みの強化

総合計画と行政評価の関係

総合計画

市が達成すべき目標を定め、市のしごとを体系化

整理

測定

行政評価

市のしごとがうまくいっているかどうか

施策(分野)は41個あるよ



施策の成果指標は102個あるよ

ワークショップのながれ

- ・ グループワーク （本日の作業）

施策の成果（達成度）を評価してみよう！



- ・ グループワーク （次回の作業）

もっと市民の感覚に近い成果指標がないか考えてみよう！



昨年のワークショップの実績

出されたアイデアの数 115件

内部検討

- ・ 成果指標として有効か
- ・ 数値の把握は難しくないか

採用件数 5件



ワークショップの結果は？

市のホームページで公表します。
施策の成果指標に取り込みます。

グループワーク

施策の成果（達成度）を評価してみよう！

評価の基準

- 5 成果水準は高い
- 4 成果水準はやや高い
- 3 成果水準は標準である
- 2 成果水準はやや低い
- 1 成果水準は低い



作業のながれ

各人で、ポストイットに施策の良い点、悪い点など、項目ごとに点数を付けて書き出す（1枚に1項目）

グループ内で発表

同様の意見、観点のものをグルーピング

グループの総合評価を決定

市の内部評価による評価結果と比べて、意見交換などを行う

全体発表

各グループが検討する施策（分野）

1 班

暮らしを支える制度の充実と自立支援

2 班

自然災害対策の推進

3 班

いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築

4 班

まちに活力を与える工業の振興

5 班

健全な財政運営の実現



ワークショップの心得

- ・ ひたすらアイデアを出す。自分のアイデアを出すことに集中する。
- ・ 実現可能かどうかといったことは考えない。
- ・ 絶対に他人のアイデアを批判、否定しない。
- ・ 他人のアイデアをなぞったり、発展させてアイデアを出す。
- ・ アイデアの枝葉を広げるように考える。
(発散・拡散・カオス)

